

## 2. 景観の現況

### 1 景観を構成する要素

景観を構成する要素はさまざまですが、あびこの景観を構成する要素は、自然景観、歴史・文化的景観、まちなみ景観に分類できます。

また、まちなみ景観はさらに市街地の景観と都市施設などの景観に分けられます。

#### (1) 自然景観

主として河川、沼、農地、樹林と農村集落地によって構成される景観。

##### 利根川

東西をゆるやかに水が流れ、対岸に筑波山を望む雄大な自然景観を醸し出しています。



##### 手賀沼

手賀沼沿いの遊歩道に沿う並木が湖岸をいっそう豊かな水と緑の空間としています。

##### 古利根沼

情緒ある風土的景観を醸し出しています。また、関東の富士見百景に選定されています。





### 田園風景と農村集落地

田園と農村集落地と斜面林が、のどかな日本のふるさとも感じさせます。

### 斜面林

手賀沼の風景に魅了され、文化人が居宅や別荘を構えたまとまった緑の固まりが、視覚的に緑が豊かなイメージを与えています。



### 斜面林

ミニ開発により緑の連続性が失われています。

### 斜面林

利根川からの斜面林と田園風景がなつかしさを感じさせます。



### 広告物

まとまった農地の沿道に田園風景をさえぎる野立て看板が見られます。

●水と緑による自然環境の図

